

令和6年度笠岡バイパスカブト南地区第1舗装工事
令和7年度笠岡バイパスカブト南地区第2舗装工事
現場技術者インタビュー

～インフラを支える「現場技術者」に迫る～

岡山国道事務所が発注する工事現場で活躍する現場技術者に、仕事の魅力や思いを聞きました！
道路を守り、未来を支える人の声を定期的にご紹介します！



前田道路 島廻(しままわり)さん



ノン丁張施工(水路据付)

Q1. まずは自己紹介をお願いします。

前田道路株式会社中国支店の島廻(しままわり)知征です。年齢は今年33歳、鹿児島県出身です。現在は家族5人で本工事従事のタイミングで岡山県へ引っ越してきました！

笠岡バイパス工事において、第1舗装工事・第2舗装工事の両工事の監理技術者(専任特例2号)を務めています。



Q2. 今回担当している工事について教えてください。

この笠岡バイパス工事での主となる工種は舗装工事となります。ICT舗装に加え冬季舗装による合材の温度低下への品質確保対策として、弊社独自の機械式フォームを活用した中温化合物「ecole」を提案し、高品質な施工を行っています。完成時の出来映えや走行性に大きく関係する部分を担うことに対する責任と誇りを持ち、日々施工しています。

Q3. 工事を進める上で工夫していることはありますか？

大変シビアな計画への工程短縮として当初予定の施工班に対し大幅な増班を行い、最大で土工班8班・舗装班2班の計10班体制で稼働しました。その中で現場管理員の人数が限られてくる事への打開策として、省人化への期待を込め、快速ナビを用いた『ノン丁張施工(ICT施工)』を実施。快速ナビを用いて、水路など構造物の掘削から据え付けまで丁張りを掛けず、デバイス画面上に表示される計画高さ・通りを基に施工しました。結果、現場管理の負担を従来の約3割程度に抑えた事による省人化を達成しています。



前田道路

Q4. 監理技術者としてのやりがいは何ですか？

発注者含め笠岡バイパス事業に関係する方々全員と共に、日々コミュニケーションをとりながら完成に向け確かに1歩ずつ前進していることを実感できます。

また、完成した道路を地域の皆さまに安全安心に利用してもらえる姿を見ると感慨深いものがあります。

Q5. 印象に残っているエピソードは？

先日、地域の方々・子ども園の皆さんを招待し、橋梁上へメッセージを描くイベントを実施しました。1人の児童の子が「おじちゃん達の作った道路早く走りたい」と言ってくれて、私のやる気スイッチがバチッと押されました！

Q6. 今後の目標や若い人へのメッセージをお願いします。

この建設業界も人手不足・全体層の高齢化とされていますが、だからこそ同年代の20代～30代がこれからどんどん進歩していくであろう施工技術・新技術を活用して、ベテラン先輩方に食らいつき共にこの業界を盛り上げていきましょう！

そのためにも、まずは基礎基本が一番。先輩方引き続きご指導のほど宜しくお願いします。



お絵かきイベント (R7.12)



お絵かきイベントのお礼寄せ書き (R7.12)



取材：計画課

島廻(しままわり)さん



前田道路

岡山国道事務所は今後も受注企業と連携しながら道路整備を進めていき、岡山の道の未来を支えていきます！
次回のインタビューもお楽しみに！

インタビューのご協力ありがとうございました！

お話や新技術のご説明から、仕事への情熱と誇りを感じました。私は、これまで何度か今回の工事現場を訪れる機会があり、土工部の段階から舗装へと変わる現場を拝見し、道路事業を支える技術者の存在の大きさを実感しました。地域の未来を形づくる建設業は、頼もしく、カッコよく、やりがい満ちた仕事だと改めて感じました。

本日はどうもありがとうございました！

次回に続く・・・

